

## ルート探索条件の設定をする

### お知らせ

- 探索条件で **一般優先** または **距離優先** を選択している場合でも、有料道路を使用したルート探索をすることもあります。また、**有料優先** を選択している場合でも、有料道路を使用したルート探索をしないこともあります。**道幅優先** を選択している場合でも細い道路を探索することもあります。
- **自動**、**有料優先**、**一般優先**、**距離優先**、**道幅優先** は、いずれか1つ設定できます。
- フェリーを優先 **する** に設定していても、出発地と目的地の間にフェリー航路が存在しない(地図データ上にない)場合は、陸路になります。
- フェリーを優先 **する** に設定していても、フェリー航路を使用しない場合もあります。
- ここで設定した探索条件は、次に行うルート案内探索の探索条件になります。

### スマートICについて

- スマートICとは、高速道路の本線やSA・PAから乗り降りができるように設置されたETC搭載車両専用のインターチェンジ(IC)のことです。
- 社会実験として実施されているスマートICは収録されていません。
- 出入り方向を考慮したルート探索は行っていますが、対象車種や営業時間、営業期間を考慮したルート探索は行っていません。  
※ ETCを搭載していない車両は通行できません。  
※ 通行可能車両、通行可能時間、期間などが制限されている場合がありますので、ご利用の際はご注意ください。

### 料金表示について

- 料金表示は目安としてお使いください。また、ETC割引きには対応していません。
- 料金表示の対象道路は、都市間高速(東名高速、中央高速、名神高速など)、都市内高速(阪神高速、名古屋高速、首都高速など)および、一般有料道路がルートに含まれる場合、その通行料金が表示されます。ただし、一部の一般有料道路には対応していません。
- 料金表示は、探索されたルート上の料金所へのIN、OUTの情報から計算されます。
- 首都高速などの単一料金区間では乗り入れたときに精算するため、区間内で再探索を行っても、料金は表示されません。
- 料金区間が2つ以上にまたがるとき、1つ目の料金所を通過して次の料金区間を走行していても、料金表示は2つの区間の合計値のままです。1つ目の料金所を通過した時点で、自動再探索が働いたり、手動によるルート探索を行うと、2つ目の区間だけの料金が表示されます。
- 高速道路、有料道路上で手動によるルート探索を行った場合は、料金は表示されず「――円」になります。(ルートの出発地/目的地が高速(有料)道路上にあるときも、料金の表示は「――円」になります。)
- “〇〇IC”を目的地に設定した場合は、目的地を設定した高速道路/有料道路の料金は表示されない(――円)場合があります。料金を表示したい場合は、料金所を出た一般道に目的地を設定してください。
- ルート探索(手動・自動)を再度行わない限り、料金は最初に計算された表示のままです。
- ルート情報画面、全ルート表示画面では出発地点から目的地地点までのルートに含まれる有料道路の合計料金を表示します。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「――円」または実際の料金と異なる場合があります。